

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年10月12日
【四半期会計期間】	第80期第1四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）
【会社名】	三光合成株式会社
【英訳名】	SANKO GOSEI LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 健宗
【本店の所在の場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【最寄りの連絡場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第79期 第1四半期連結 累計期間	第80期 第1四半期連結 累計期間	第79期
会計期間	自平成23年6月1日 至平成23年8月31日	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成23年6月1日 至平成24年5月31日
売上高(千円)	8,189,171	9,427,057	34,477,963
経常利益(千円)	297,405	746,629	1,371,238
四半期(当期)純利益(千円)	166,627	601,144	699,788
四半期包括利益又は包括利益(千円)	90,217	704,969	496,456
純資産額(千円)	6,927,070	7,928,554	7,286,374
総資産額(千円)	23,875,816	27,632,145	26,117,331
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.96	28.72	33.43
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	27.0	26.9	26.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間において、当社の子会社「SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.」をメキシコに新規設立したため、連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結累計期間において、当社が株式会社積水工機製作所の発行済株式総数の32.7%の株式を取得したため、持分法適用の関連会社に含めております。

この結果、平成24年8月31日現在では、当社グループは、当社、子会社11社、関連会社3社により構成されることとなりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等により個人消費や設備投資に緩やかな回復の動きが見られるようになってきましたが、欧州債務危機による海外経済の減速や長引く円高など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。このような厳しい状況のなか、当社グループは前連結会計年度に引き続き、生産効率の向上を図り原価低減に努めてまいりました。また、8月に株式会社積水工機製作所の株式を取得し持分法適用会社とするとともに、グループの企業価値向上とプラスチック成形金型分野の強化を図るため同社と業務提携契約を締結いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,427百万円（前年同期比15.1%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は413百万円（前年同期比11.5%増）、経常利益は持分法による投資利益400百万円（うち株式会社積水工機製作所の取得時に発生した持分法による投資利益394百万円）を計上し746百万円（前年同期比151.0%増）、四半期純利益は601百万円（前年同期比260.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 日本

成形品部門において、車両メーカーの生産体制が復旧したことにより、車両用内外装部品及び機能部品の受注が増加しましたが、情報通信機器関連の部品は得意先の内製化もあり減収となりました。また、金型部門では車両向けの受注が増加しました。

この結果、売上高は4,549百万円（前年同期比5.9%増）となり、セグメント利益は361百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

#### 欧州

車両用内外装部品や薄型テレビ部品は、受注の低迷により減収となりましたが、車両向け金型の受注増加が大きく寄与し、売上高は807百万円（前年同期比29.5%増）となりセグメント利益は5百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

#### アジア

タイ・インドネシアを中心に自動車の生産台数が大幅に増加するなか、車両用内外装部品の受注が増加し、売上高は4,070百万円（前年同期比24.4%増）となり、セグメント利益は235百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	
	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	1,716 18.5
	車両	6,476 35.5
	家電その他	433 22.9
成形品計	8,626	15.8
金型	800	8.1
合計	9,427	15.1

#### （2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、27,632百万円（前連結会計年度末比1,514百万円増）となりました。流動資産は14,313百万円と前連結会計年度末比115百万円増加しておりますが、主にたな卸資産の増加378百万円並

びに受取手形及び売掛金の減少371百万円によるものであります。固定資産は13,318百万円と前連結会計年度末比1,399百万円増加しておりますが、これは、有形固定資産の設備投資による増加638百万円及び株式会社積水工機製作所の株式取得等による投資有価証券の増加780百万円が主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、19,703百万円（前連結会計年度末比872百万円増）となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加218百万円、設備投資によるリース債務の増加735百万円並びに社債及び長期借入金の減少279百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、7,928百万円（前連結会計年度末比642百万円増）となりました。これは、主に利益剰余金の増加538百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は99百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	43,200,000
計	43,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	21,121,569	21,121,569	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	21,121,569	21,121,569	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日	-	21,121,569	-	1,890,800	-	1,742,393

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 191,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,754,000	20,754	-
単元未満株式	普通株式 176,569	-	-
発行済株式総数	21,121,569	-	-
総株主の議決権	-	20,754	-

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三光合成(株)	富山県南砺市土生新1200番地	191,000	-	191,000	0.90
計	-	191,000	-	191,000	0.90

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,264,210	3,090,885
受取手形及び売掛金	7,615,590	7,244,080
商品及び製品	611,798	652,658
仕掛品	720,041	887,845
原材料及び貯蔵品	471,240	641,433
その他	1,515,553	1,796,867
流動資産合計	14,198,434	14,313,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,021,732	4,187,465
機械装置及び運搬具(純額)	3,002,170	3,443,070
土地	2,547,855	2,549,545
建設仮勘定	3,593	10,059
その他(純額)	1,362,311	1,386,021
有形固定資産合計	10,937,662	11,576,163
無形固定資産		
その他	76,109	71,557
無形固定資産合計	76,109	71,557
投資その他の資産		
投資有価証券	668,860	1,449,703
その他	236,265	220,949
投資その他の資産合計	905,125	1,670,653
固定資産合計	11,918,897	13,318,374
資産合計	26,117,331	27,632,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,117,928	6,336,583
短期借入金	1,191,781	1,202,057
1年内返済予定の長期借入金	2,310,999	2,312,201
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	35,208	53,950
役員賞与引当金	24,215	-
その他	3,190,890	3,448,798
流動負債合計	13,071,023	13,553,590
固定負債		
社債	700,000	650,000
長期借入金	3,459,269	3,228,186
退職給付引当金	111,955	128,988
役員退職慰労引当金	88,262	88,262
負ののれん	1,657	1,243
その他	1,398,789	2,053,319
固定負債合計	5,759,933	6,149,999
負債合計	18,830,957	19,703,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	4,476,369	5,014,725
自己株式	39,218	39,218
株主資本合計	8,070,344	8,608,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344	261
為替換算調整勘定	1,229,185	1,185,772
その他の包括利益累計額合計	1,229,529	1,186,033
少数株主持分	445,559	505,888
純資産合計	7,286,374	7,928,554
負債純資産合計	26,117,331	27,632,145

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	8,189,171	9,427,057
売上原価	6,817,524	7,812,681
売上総利益	1,371,647	1,614,375
販売費及び一般管理費	1,000,360	1,200,390
営業利益	371,286	413,984
営業外収益		
受取利息及び配当金	349	1,573
持分法による投資利益	3,101	400,606
その他	22,716	32,118
営業外収益合計	26,167	434,298
営業外費用		
支払利息	61,739	80,847
その他	38,309	20,806
営業外費用合計	100,049	101,653
経常利益	297,405	746,629
特別利益		
固定資産売却益	225	68
負ののれん発生益	24,580	-
特別利益合計	24,806	68
特別損失		
固定資産除却損	1,321	6,903
固定資産売却損	2,231	1,260
スワップ差損	622	901
過年度消費税等	14,276	-
特別損失合計	18,451	9,064
税金等調整前四半期純利益	303,759	737,633
法人税等	102,808	85,962
少数株主損益調整前四半期純利益	200,951	651,670
少数株主利益	34,323	50,526
四半期純利益	166,627	601,144

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200,951	651,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	947	83
為替換算調整勘定	131,915	9,935
持分法適用会社に対する持分相当額	22,130	43,280
その他の包括利益合計	110,733	53,298
四半期包括利益	90,217	704,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,947	644,640
少数株主に係る四半期包括利益	6,730	60,328

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の子会社「SANKO GOSEI MEXICO,S.A.DE C.V.」を新規設立したため、連結の範囲に含めております。

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社積水工機製作所の発行済株式総数の32.7%の株式を取得したため、同社を持分法適用の範囲に含めております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)
減価償却費	277,091千円	351,763千円
負ののれんの償却額	414	414

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月26日 定時株主総会	普通株式	41,864	2	平成23年5月31日	平成23年8月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月29日 定時株主総会	普通株式	62,789	3	平成24年5月31日	平成24年8月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,294,660	623,322	3,271,188	8,189,171	-	8,189,171
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	237,082	-	192,192	429,274	(429,274)	-
計	4,531,742	623,322	3,463,380	8,618,446	(429,274)	8,189,171
セグメント利益又は損失( )	329,734	36,066	184,928	478,597	(107,311)	371,286

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去27,426千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 134,737千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

「北米」セグメントを構成しておりました「RICH MOUNT INC.」が前連結会計年度において清算されたため、当第1四半期連結会計期間から、「北米」セグメントを報告セグメントとして記載する事業セグメントから除外しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門において、連結子会社「PT.SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDONESIA」の時価発行増資(平成23年8月23日付実施)に関し全額引き受けしたこと等により、当第1四半期連結累計期間において、24,580千円の負ののれん発生益を計上しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,549,457	807,167	4,070,432	9,427,057	-	9,427,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	362,293	444	233,840	596,578	(596,578)	-
計	4,911,751	807,611	4,304,273	10,023,636	(596,578)	9,427,057
セグメント利益	361,526	5,386	235,824	602,736	(188,752)	413,984

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 37,349千円及び各報告セグメントに配分して  
いない全社費用 151,402千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	7円96銭	28円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	166,627	601,144
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	166,627	601,144
普通株式の期中平均株式数(株)	20,932,278	20,929,731

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成24年9月19日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である麗光精密(香港)有限公司の当社保有株式の全部を東レ株式会社へ売却することを決議し、株式の譲渡が平成24年9月28日に完了しました。

この結果、麗光精密(香港)有限公司は、平成25年5月期第2四半期連結会計期間より当社の持分法適用関連会社から除外されます。なお、同期間において、関係会社株式売却損として81百万円計上の見込であります。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月12日

三光合成株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	浜田 亘 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	近藤 久晴 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	笠間 智樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三光合成株式会社の平成24年6月1日から平成25年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備又は運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三光合成株式会社及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。